

別表第1（第3条関係）

大規模開発事業届出書添付図書

	図書名	縮尺	明記事項	備考
1	大規模開発事業計画届出書			・土地利用の方針には計画内容を具体的に記載すること。
2	位置図	1 / 10,000以上	・方位 ・開発区域及びその位置 ・既存の公共施設及び公益施設	・事業区域は、赤色で着色すること。 ・道路は茶色で、河川、水路等は青色で着色すること。
3	付近見取図	1 / 2,500以上	・方位 ・開発区域及びその位置 ・町の境界 ・土地の地番及び形状 ・既存の公共施設	・事業区域は、赤色で着色すること。 ・道路は茶色で、河川、水路等は青色で着色すること。
4	公図		・事業区域 ・事業区域並びに隣接地の地番、地目及び所有者	・事業区域を緑色で着色すること。 ・里道（赤）及び水路（青）を明確に着色すること。 ・公図の転写年月日（3か月以内）及び転写者の署名又は記名押印のこと。 ・公図が所在する法務局名を明記のこと。 ・インターネット登記情報サービスによる公図も可とするが、その場合は、情報取得者の氏名を記載すること。
5	現況平面図	1 / 500以上	・方位 ・事業区域境界線	・境界は、赤線で明示すること。 ・水路等は、青色で着色すること。

			<ul style="list-style-type: none"> ・事業区域の地番、地目及び所有者 ・地形（高低差等） ・既存建築物 ・既存の公共施設等 ・道路名及び河川名 	<ul style="list-style-type: none"> と。 ・官民境界がある場合は、確定日及び番号を明記のこと。 ・道路、水路等の幅員を明記すること。
6	土地利用計画平面図	1 / 500 以上	<ul style="list-style-type: none"> ・方位 ・事業区域境界線 ・公共施設の位置及び形状 ・予定建築物の形状、規模及び用途 ・擁壁の位置、種類、高さ及び延長 ・宅地（1区画）の面積 	<ul style="list-style-type: none"> ・境界は、赤線で明示すること。 ・既設構造物を利用する場合は、その旨を明示すること。
7	建築物平面図・立面図	1 / 100 以上	<ul style="list-style-type: none"> ・建築面積及び延べ床面積の算定 	<ul style="list-style-type: none"> ・配置図、各階平面図及び2面以上の立面図（分譲宅地の場合は除く。） ・各面積の計算書を添付のこと。
8	現況写真		<ul style="list-style-type: none"> ・事業区域の土地及びその周辺が写っているもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業区域を赤線で明示すること。 ・サイズは、サービス版以上とすること。 ・できる限り上部から撮影し、かつ、四方向以上から撮影すること。
9	共同住宅等概要書			<ul style="list-style-type: none"> ・共同住宅等を計画する場合のみ